

岩手県公立高校入試対策

国語模擬テスト

中学3年生レベル / 全15問 / 満点50点 / 目安50分

学校名		氏名		得点	/ 50点
-----	--	----	--	----	-------

漢字・語句の知識

知識問題

問一（2点） 次の傍線部の漢字の読みとして正しいものを選びなさい。

「彼の功績は長く語り継がれるだろう。」

- ア) こうせき
- イ) くせき
- ウ) こうじき
- エ) こうき

問二（2点） 「祖母は毎朝丹精を込めて花に水をやる。」

- ア) たんせい
- イ) にっせい
- ウ) たんてい
- エ) だんせい

問三（2点） 次の傍線部のカタカナを漢字に直したとき、正しいものはどれか。

「地元の文化をケイショウしていきたい。」

- ア) 継勝
- イ) 形象
- ウ) 継承
- エ) 経証

論説文の読解

読解問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

現代社会において、情報は瞬時に世界中を駆け巡るようになった。インターネットの普及により、かつては専門家だけが持っていた知識が、誰もが手軽に入手できるようになった。これは一見、民主化された理想的な状況のように思える。

しかし、A情報の量が増えれば増えるほど、その質を見極める力がより一層重要になる。膨大な情報の海の中で、正確な情報と誤った情報を選び分ける能力　いわゆる「情報リテラシー」　こそが、現代人に求められる真の学力と言えるのではないだろうか。

学校教育において知識を詰め込むことの意義が問われることがある。確かに、インターネットで調べればわかることを暗記する必要はないという意見も理解できる。しかし、基礎的な知識なくして、情報の正誤を判断する土台は築けない。料理のたとえで言えば、食材の種類や特性を知らない料理人が、レシピを見ても適切に判断できないのと同じである。

知識と情報リテラシー　この二つは対立するものではなく、車の両輪のように互いを支え合うものだと私は考える。

問一（4点）傍線部A「情報の量が増えれば増えるほど、その質を見極める力がより一層重要になる」とあるが、筆者がこのように述べる理由として最も適切なものはどれか。

- ア) インターネットの普及により、専門家でなくても情報が入手できるようになったから。
- イ) 現代社会では、情報が瞬時に世界中を駆け巡るようになったから。
- ウ) 正確な情報と誤った情報が混在する膨大な情報の中から、正しいものを選び取る必要があるから。
- エ) 学校教育において知識を詰め込むことの意義が問われるようになったから。

問二（4点）傍線部「しかし、基礎的な知識なくして、情報の正誤を判断する土台は築けない」について、筆者が例として挙げているものはどれか。

- ア) インターネットで調べればわかることを暗記すること。
- イ) 食材の種類や特性を知らない料理人がレシピを見ても適切に判断できないこと。
- ウ) 知識と情報リテラシーが車の両輪のように支え合うこと。
- エ) 現代人に真の学力が求められるようになったこと。

問三（4点）この文章全体を通じて、筆者が最も伝えたいことはどれか。

- ア) インターネットの普及により、現代社会は情報が民主化された理想的な状態になった。
- イ) 学校で知識を詰め込むことは時代遅れであり、情報リテラシーを優先すべきだ。
- ウ) 専門家だけが正確な情報を持っており、一般人は情報を信頼すべきでない。
- エ) 基礎的な知識と情報を見極める力は対立するものではなく、どちらも現代人に必要だ。



次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

夏休みの最終日、健太は机の前に座ったまま、窓の外を眺めていた。宿題の自由研究はほぼ完成していたが、なぜかペンが進まない。

「明日から学校か……」

つぶやいた声は、自分でも驚くほど小さかった。別に学校が嫌いなわけではない。でも、この夏、毎朝一緒に虫取りに行っていた翔が、父親の転勤で東京へ引っ越してしまった。翔のいない学校を、健太はまだうまく想像できなかった。

机の上には、翔と二人で捕まえたカブトムシの抜け殻が置いてある。それを指先でそっと触れながら、健太は目を細めた。

縁側から母の声がした。「健太、夕ご飯よ。」

「うん」と答えて立ち上がったとき、窓の向こうに夕焼けが広がっていた。赤く染まった空は、どこかで翔も見ているだろうか、と健太は思った。

問一（4点）傍線部「それを指先でそっと触れながら、健太は目を細めた」とあるが、このときの健太の心情として最も適切なものはどれか。

- ア) カブトムシの抜け殻が珍しく、興味深く観察している。
- イ) 翔と過ごした夏の思い出を大切に感じながら、名残惜しんでいる。
- ウ) 翔が引っ越してしまったことへの怒りを、抑えようとしている。
- エ) 宿題が完成したことへの安堵感と達成感を感じている。

問二（4点）この文章で「夕焼け」が果たしている役割として最も適切なものはどれか。

- ア) 夏休みが終わったことへの健太の喜びを表している。
- イ) 母親が夕ご飯を呼びに来た時刻を示す情景描写である。
- ウ) 遠く離れた翔とつながっているかもしれないという気持ちを象徴している。
- エ) 学校が始まることへの恐怖と不安を高めている。

【四】

古文の読解

古文問題

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

昔、男ありけり。その男、伊勢の国に狩りの使ひにいけるに、かの伊勢の斎宮なりける人の親、「例のことよりは、この男に、よくもてなせ」と言ひやれりければ、その言葉を聞きて、いとねんごろにいたはりけり。

【注】斎宮：伊勢神宮に仕える女性。もてなせ：もてなしなさい。
ねんごろに：心をこめて丁寧に。いたはりけり：大切に扱った。

問一（3点）「かの伊勢の斎宮なりける人の親」が男に言ったことの内容はどれか。

- ア) 伊勢の国から帰るように伝えること。
- イ) いつもより特別に男をもてなしなさいということ。

ウ) 先生がそう言われていた。

エ) 彼女は毎朝六時に目が覚められる。

問二(2点) 次の熟語のうち、構成(組み立て)が他と異なるものはどれか。

ア) 読書

イ) 登山

ウ) 高低

エ) 出発

問三(2点) 次の文を正しい敬語に直したものはどれか。「先生が来た。」

ア) 先生が参られた。

イ) 先生がいらっしゃった。

ウ) 先生がおいでになさった。

エ) 先生がうかがった。

問四(2点) 「山あり谷あり」と同じ構造(対比の表現)を使っているものはどれか。

ア) 春の野原を歩いた。

イ) 桜の花が咲いた。

ウ) 空が青く澄み渡る。

エ) 喜びあり悲しみあり、それが人生だ。

解答・解説

【一】

問一	ア) こうせき	「功績」は「こうせき」。功(こう) = 手柄、績(せき) = 積み重ねた成果。
問一	ア) たんせい	「丹精」は「たんせい」。心を込めて丁寧に行うこと。
問二	ウ) 継承	「継承」(けいしょう) = 前の世代から受け継ぐこと。

【二】

問一	ウ)	傍線部A直後に「正確な情報と誤った情報を選び分ける能力が必要」と述べている。
問二	イ)	「料理のたとえで言えば～」という一文が具体例。「たとえ」に続く部分に着目。
問三	エ)	最終段落「知識と情報リテラシーは対立するものではなく車の両輪」が主張。

【三】

問一	イ)	「そっと触れる」「目を細めた」という行動から、思い出を大切に感じる・名残惜しむ心情が読み取れる。
問二	ウ)	「どこかで翔も見ているだろうか」という健太の思いが夕焼けを通じた翔とのつながりを象徴している。

【四】

問一	イ)	「例のことよりは、よくもてなせ」 = 「いつもより特別にもてなしなさい」。「例の」 = いつもの。
問二	ア)	注釈より「ねんごろに」 = 丁寧に、「いたはりけり」 = 大切に扱った。注釈を必ず活用。

【五】

問一	採点基準	立場明確2点 具体例あり2点 字数120~160字2点 誤字脱字なし2点 模範例：「将来の夢を持つことは大切だと私は考える。目標があると行動に意味が生まれるからだ。吹奏楽を始めたとき、音楽の先生になりたいという夢があったからこそ練習を続けられた。夢は道しるべになる。」(約130字)
----	------	--

【六】

問一	イ)	「彼は先生に呼ばれた」 = 「先生に~される」 受け身。ア・エは可能、ウは尊敬。「~に~される」に言い換えられれば受け身。
----	----	---

問二	ウ) 高低	「高低」は反対の意味の漢字の組み合わせ。読書・出発は類義、登山は動詞+目的語。
問三	イ)	「いらっしゃる」が「来る」の尊敬語。「参る」は謙譲語なので先生には使えない。
問四	エ)	「喜びあり悲しみあり」が「山あり谷あり」と同じ対比の並列構造。